

第 57 回 放送番組審議会 議事録

令和 8 年 5 月 28 日 (木)
株式会社有明ねっこむ

■第 57 回 放送番組審議会

1.開催日時 令和 8 年 5 月 28 日(木)15 時 30 分～

2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3.出席者 委員長: 石丸 智士

委員: 松崎 義和、城戸 久信、大石 教義、黒木 雄平
(出席 5 名/欠席 1 名)

放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)
永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)

4.議題 審議番組: 「た～んと守り隊」(令和 8 年 5 月 15 日(金)放送)

5.議事の内容 ● 「5 月 15 日(金)放送の「た～んと守り隊」(大牟田市・荒尾市・みやま市の 3 市防災対策室長ご出演回)について審議していきます。音源について、まず事務局より概要を説明。

【放送局】「た～んと守り隊」は、防災に関する行政機関や警察・消防などの担当者を週替わりでお招きし、防災情報等をお届けする 30 分番組です。今回は、大牟田市・荒尾市・みやま市の 3 市の防災対策室長が、毎年 1 回、梅雨入り前に行う意見交換会の日に合わせて来局されたため、3 名そろっての出演となりました。

● 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

【委員】放送中、音声聞き取りにくい場面が数か所ありました。マイクごとの音量や収録レベルに差が出ていたように感じます。マイクの位置や音量バランスの調整、本番前の音声チェックなど、放送前に音響面を整える余地があると感じました。

【委員】昨年も大雨被害があり、市民の防災意識は高まっています。防災を扱う番組だからこそ、テーマに沿った進行で、伝

えるべき内容が確実にリスナーへ届く構成が必要だと感じました。

【 委 員 】3 市の担当者がそろう貴重な機会なので、テーマを明確に決めて事前に企画を立てたうえで放送に臨むと、より深みのある内容になります。前年の災害で実際に役立った備えや、行動の違いによる被害の差など、具体的な事例を準備の段階で組み込んでおくと、話に厚みが出てリスナーにも伝わりやすくなると思います。

【 放 送 局 】ご指摘の通り、放送前の打ち合わせが大まかな確認にとどまり、テーマを十分に絞り込めなかった面がありました。来年度以降は、3 市の防災対策室と事前にテーマや具体的な事例を共有し、企画を整えて放送に臨みます。

音響面についても、収録時のマイク設定や音量バランス、本番前の音声チェックを含め、防災情報がしっかり伝わる放送づくりに取り組みます。

6.次回の会議 令和8年7月末を予定

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和8年6月18日掲載)